



鳥インフルエンザ対策の強化をお願いします

香川県の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の疑似患畜が連続して確認されています。

また、北海道や韓国においても野鳥の糞便から本病のウイルスが確認されており、農場への侵入リスクは非常に高まっています。

	発生市町村	飼養状況	疑似患畜判定日
1例目	香川県 三豊市	採卵鶏 約33万羽	令和2年11月5日
2例目	// 東かがわ市	採卵鶏 約4.8万羽	令和2年11月8日
3例目	// 三豊市	肉用鶏 約1.1万羽	令和2年11月11日

⚠️ 家きん舎へのウイルス侵入を確実に防止するため以下の点を再度点検・確認してください!

- ☑️ 関係者以外の農場への立入りを制限
 - ☑️ 農場へ出入りする人・車輛・物品等の消毒を徹底
→記録簿などで出入りの記録を残す
 - ☑️ 家きん舎の壁面、屋根、防鳥ネット等の破損有無の確認
→破損があった場合はすぐに修繕する
→防鳥ネットを二重に張るなどして隙間を無くす
-
- ☑️ 家きん舎の清掃・消毒及び周囲環境の整備
→入口に踏込消毒槽等を設置し、靴底や手指の消毒を行う
・消毒薬は適切なもの・濃度を選択し、汚れたら交換する
・消石灰が混ざると効果が弱まる消毒薬(ビルコンなど)に注意
→家きん舎では専用の衣類、履物を使用する
→家きん舎周辺へ消石灰を散布する
→不要な物品は片付け、周囲に野生動物の隠れ場所を作らない
 - ☑️ 毎日の健康観察の実施と異状があった場合の早期通報

次のような症状が見られたら速やかに家畜保健衛生所へ通報してください

- ⚠ 死亡する鶏の数が急激に増加した
- ⚠ 過去3週間と比べ、死亡率が2倍以上になった
- ⚠ 5羽以上がまとまって死亡している
- ⚠ 複数羽でまとまって嗜眠・沈うつ状態がみられる(写真1、2)
- ⚠ 脚部などに皮下出血がある(写真3)
- ⚠ トサカや肉垂が暗青色に変化した(チアノーゼ)(写真4)
- ⚠ 産卵率が急激に低下した



写真1. 感染し、元気をなくした鶏 (真瀬昌司原図)



写真2. 突然の沈うつ、すぐ死亡 (山口県提供)



写真3. 脚部の皮下出血 (真瀬昌司・谷村信彦原図)



写真4. 宮崎株実験染鳥 肉垂のチアノーゼが見られる (動物衛生研究所提供)

写真出典

平成27年9月9日 農林水産大臣公表

高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針 参考資料

<愛玩鶏飼養者の皆様へ>

愛玩用(ペット)として少数を飼育する場合でも感染リスクは同じです。家きん舎周辺の消毒や野鳥の侵入防止など、必要な防疫対策を講じるとともに、**異状がみられた場合は家畜保健衛生所まで通報してください。**

三八地域県民局地域農林水産部 八戸家畜保健衛生所

TEL: 0178-27-7415 FAX: 0178-27-7418

土日祝祭日の場合は、家保携帯 090-7069-7714

本家畜衛生情報は八戸家畜保健衛生所のウェブサイトにも掲載しております。

(<http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kenmin/ha-kaho/hachikaho.html>)